

TOSTEM



プロに選ばれる理由がある

高性能窓

TW



100年の想いの到達点。 高性能窓 TW

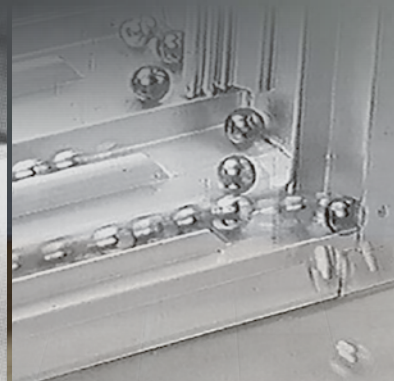
「人々が良い家に住むために、尽くしたい。」
そんなひとつの想いから、TOSTEMは始まりました。

厳しく、そして美しい日本の四季。
住まいを守りつつ、豊かな自然を上手に採り入れることで、
より快適な暮らしを実現することができる。

住む人と自然との、心地よい接点をつくるために。

TOSTEMは、100年の叡智をもとに、
次の時代に・次の住まいに求められる窓を追求してきました。

そして、たどり着いたのが、高性能窓 TWです。





外側に強さを、内側に暖か

熱を逃がさない／結露を軽減する

景色を見る／太陽

TWは、
暖かい。

→P.4

TWは、
美し

TWは、窓に求められる価値

さを。日本の美しい窓 TW



を兼ね備えた高性能窓です。

POINT 01

高性能スリムフレームとガラス面積最大化で、高い断熱性能を実現。
冬は室内を暖かく明るく保ち、夏は外の暑さを室内に伝えづらく、
一年を通して心地よい空間を創出。さらに、広々とした大開口の窓から、
日射熱を最大限に活用できます。

TWは、暖か



樹脂窓同等の断熱性能で 室内をより暖かく、快適に

〔室内側〕樹脂

断熱性に優れた樹脂材を
多く使用することで
室内を快適に。

従来のアルミ樹脂
複合窓と比べ、
室内側の樹脂構成比
約4倍を実現※

※当社従来品アルミ樹脂複合窓とTWの縦
すべり出し窓における比較。ガラス面より
室内側の下枠部材における、樹脂構成
体積比の算出結果。

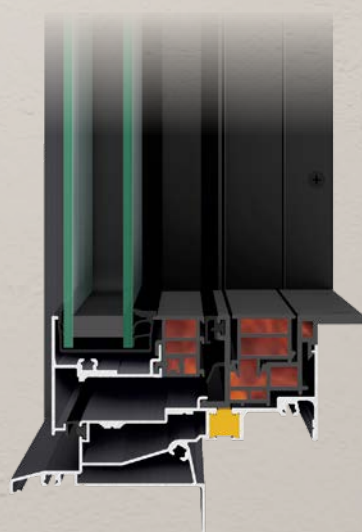
BEFORE



高性能ガラス

トリプルガラスに内外Low-Eガラスを
採用し、高性能ガスを封入することで
高断熱を実現。

複層ガラス仕様の設定もあります。



多層ホロー構造

フレーム内に熱を伝えにくい
空気の小部屋を増やし、
熱の出入りを抑制。

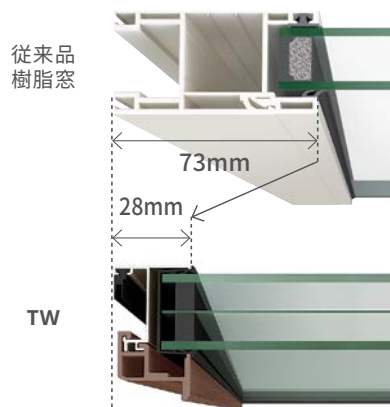
フレームイン構造

フレームの極小化と
ガラス面積の最大化により、
優れた断熱性と眺望性を両立。

サーマルブレイク構造

室外側と室内側の
アルミ形材の熱の伝わりを
樹脂部材で遮断。

FEATURE 01 ガラス面積最大化により、断熱性能を向上



※引違い窓マドサイズ(縦框)での比較。

断熱性能の表示ラベル



窓の断熱性能表示マーク	一般的なアルミ製窓	一般的な樹脂製窓	TW
高い	★★★★★☆☆	○	○
	★★★★★☆☆	○	○
	★★★★★☆☆	○	○
	★★★★★☆☆	○	○
	★★★★★☆☆	○	○
	○	○	
低い	○		

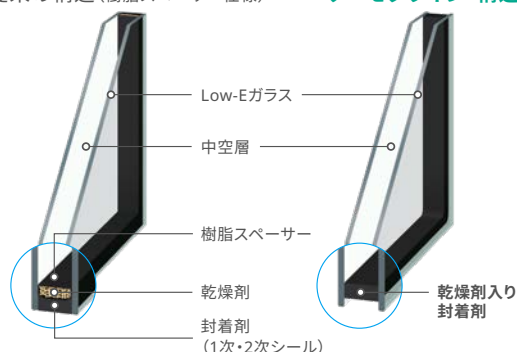
最高水準の★6つまで対応

FEATURE 02 サーモクライン®構造により、防露性を向上

樹脂スペーサーよりも熱を伝えにくい構造で、高い防露性を実現

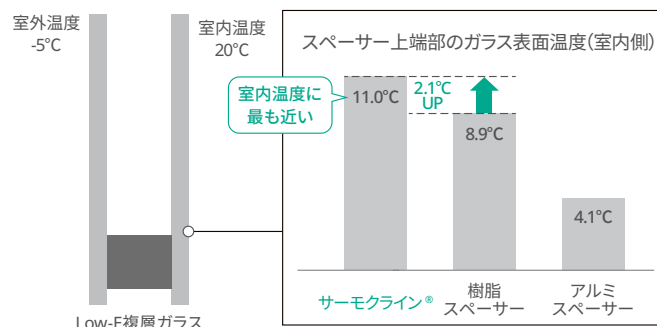
従来の構造(樹脂スペーサー仕様)

サーモクライン®構造



※一部対応していないサイズ、機能ガラスがあります。 ※サーモクライン®はAGC株式会社の登録商標です。

【ガラスの表面温度解析】



※Low-E複層ガラス(LG3-Ar16-FL3)の表面温度解析(使用ソフト:THERM) 室外温度 - 5℃ 室内温度20℃

FEATURE 03 優れた断熱効果で、結露を軽減

【防露性能試験】



アルミ窓(複層ガラス)



樹脂窓(複層ガラス)



TW(複層ガラス)

樹脂窓同等の断熱効果

※防露性能試験：室外温度 0℃、室内温度 20℃、湿度 60%の場合、4 時間後

※窓の断熱性能を上げることは、結露発生の抑止力を高めます。しかし、窓の断熱性能を上げるだけでは必ず結露の発生を抑えるというものではありません。適度な換気や室温設定と組み合わせることで抑止効果を発揮します。

POINT 02



TW



これまでの高断熱窓とは一線を画す
スリムなフレームが、明るく、開放感のある空間を創出。

そのすっきりとしたデザインは
住まいの外観にも、インテリアにも美しく調和します。

は、美しい。



従来品 樹脂窓

TWは、同じサイズでも見える景色が違う



ガラス面積
約**30%**
アップ*

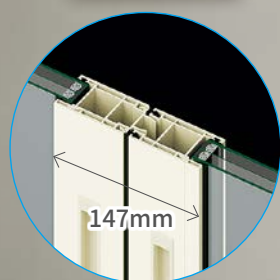
※縦すべり出し窓(グレモン)
06011[05711]での比較

TW

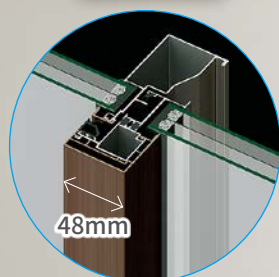
Licensed by Tokyo Tower

スリムなフレームを追求し 優れた採光性、眺望性を確保

従来品 樹脂窓



TW



引違い窓4枚建は合掌框の幅を

約 $\frac{1}{3}$ に
スリム化

縦フレームの
幅を揃えて、
デザインも
視界もすっきり



FEATURE 01 景色を美しく切り取る、高性能スリムフレーム

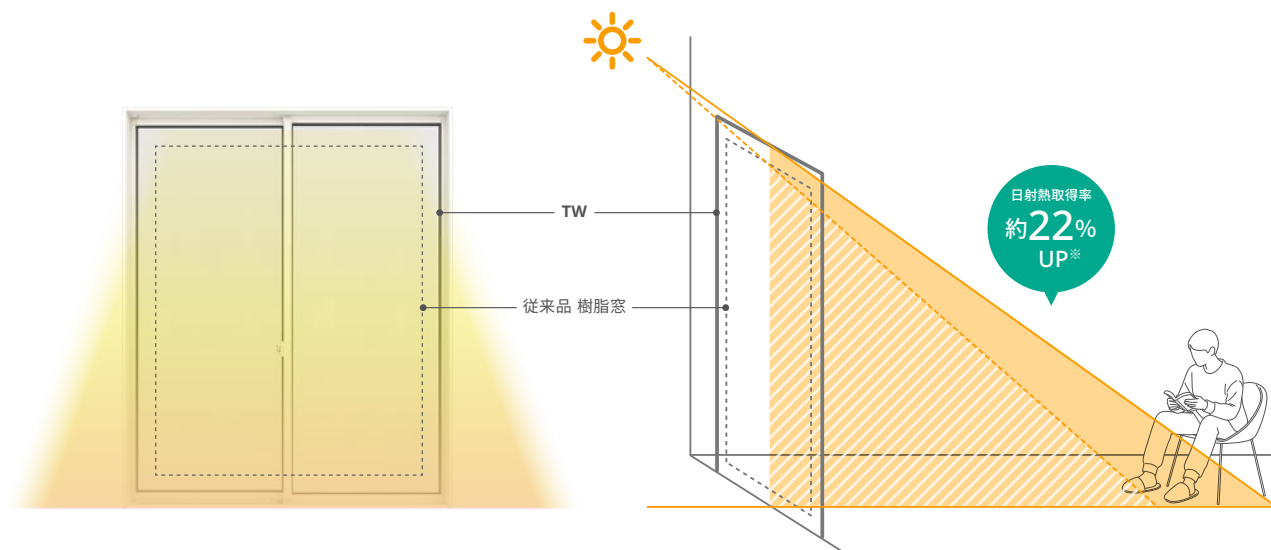
従来品 樹脂窓



TW

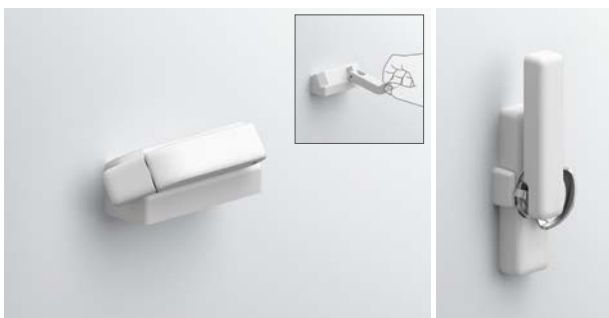


FEATURE 02 大きなガラス面積で、日差しをたっぷり採り込める



※16522サイズで比較

FEATURE 03 インテリアと調和する美しいパーツデザイン



オペレーターハンドル

クレセント

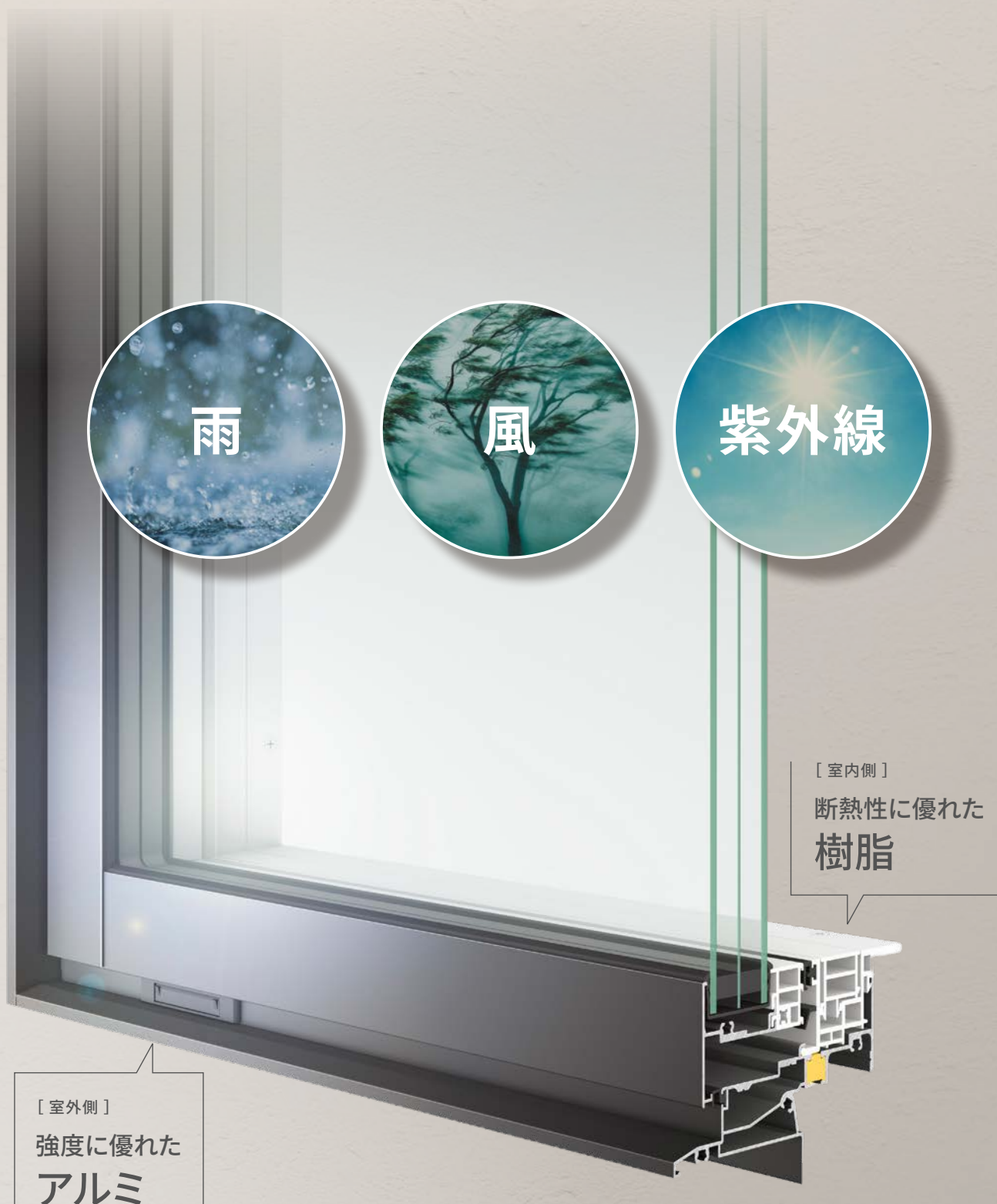
POINT 03

室外側に強度に優れたアルミを採用し、
独自の技術を施すことで、
雨・風・紫外線に負けない強さを確保。
自然の猛威から住まいを守り、
暮らしをより安心・安全に。

TWは、 強い。



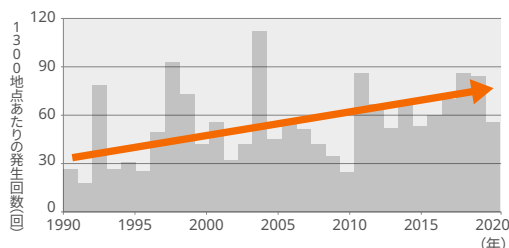
日本の厳しい雨・風・紫外線に 耐える強度を実現



FEATURE 01 “中高層ビル”でも耐えられる「水密性能」

集中豪雨は2020年までの10年間で約1.5倍に増加

線状降水帯を含む、集中豪雨事例の経年変化



※出典：気象庁「大雨や猛暑日など（極端現象）のこれまでの変化」

中高層ビルでも耐えられる水密性能を実現

水密性能のJIS 等級	一般的な窓				TW
	W-1	W-2	W-3	W-4	W-5
選択の目安	市街地住宅				
	郊外住宅				
			低層ビル		
					中高層ビル

国内
最高水準！

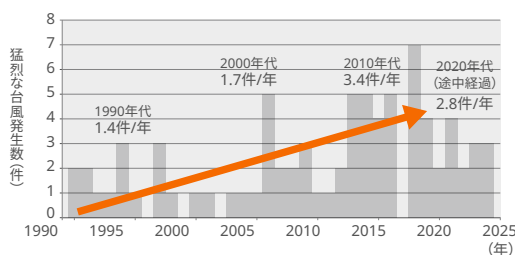
階数が上がると
風圧も高まり、
水密性能が必要

※一部サイズ・仕様は除く

FEATURE 02 猛烈な“台風”に耐える「耐風圧性能」

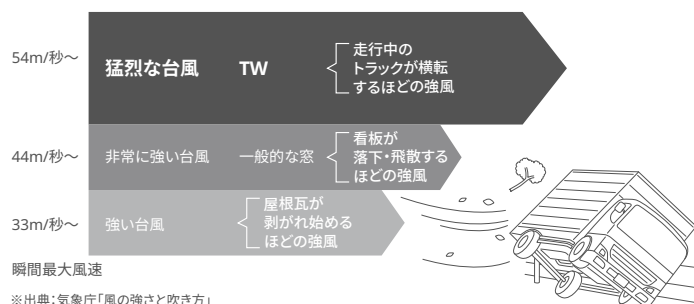
“猛烈な台風”の発生数は1990年代から増加傾向

猛烈な台風（最大風速54m/秒～）年別発生件数の推移



※出典：気象庁「RSMCベストトラックデータ」

最大瞬間風速57m/秒相当に耐える強度を確保



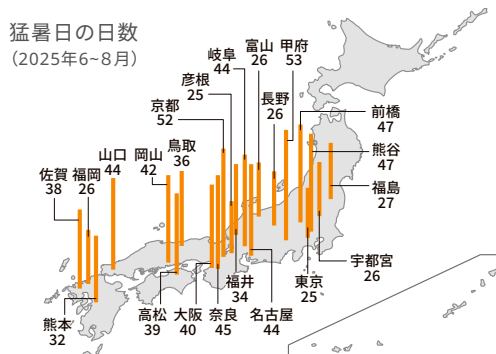
瞬間最大風速

※出典：気象庁「風の強さと吹き方」

FEATURE 03 厳しい“紫外線”に負けない「耐候性能」

多くの主要都市で、猛暑日の日数が25日以上を記録

猛暑日の日数
(2025年6～8月)

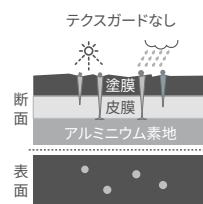


※出典：気象庁「2025年の猛暑日・真夏日などの日数」

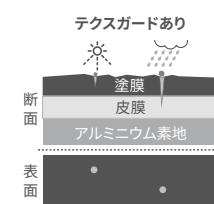
室外側に独自技術「テクスガード」を施した、アルミを採用

高耐候化のイメージ

塗膜が劣化、磨耗し、腐食が発生



磨耗し難く、耐食性に優れる



長期にわたり、
美しい
風合いを維持

※性能値は、目安であり住宅の立地条件（山の上など高い場所に建っているなど）によって異なります。

意匠と性能のバランスが取れる。
それが、TWを選び続けている
理由です。

建築家

伊礼 智

SATOSHI IREI

1982年琉球大学理工学部建設工学科卒業後、東京芸術大学美術学部建築科大学院修了。1996年伊礼智設計室開設。居心地のいい設計を基本とし、「自然エネルギーを利用した環境と応答する住まい、自然素材に包まれて見えない物までデザインされた住まいでありたい」をモットーにグッドデザイン賞をはじめ数々の賞を受賞。



外の心地よさを採り入れるために、窓を設ける場所から考える。

—— 窓は暮らしにとって、どういう役割があるとお考えですか？

伊礼 最近では、窓の断熱性能に注目が集まりがちで、これはこれで大切なことだと思いますが、窓の本質的な役割は、もっと根源的なところにあるのではないのでしょうか。そもそも、

窓のない空間では人は暮らしていけない。それほど、窓は私たちの暮らしにとって欠かせない存在。光や風を採り入れること。景色を眺め、緑を楽しむこと。窓を通して得られる体験が、暮らす人の心に大きな影響を与えている。私は、窓とは「日常の暮らしを浄化してくれる装置」だと考えています。



—— 窓と景色との関係性について、どのように捉えていますか？

伊礼 とても重要な関係だと思います。私が設計を手がける際は、まず敷地に足を運び、どの方向に抜けがあるか、どこから遠くの景色が見えるかを探すことから始めます。敷地の中で一番良い場所を見つけ、窓の位置から設計を考えていくのです。そして、近隣からの視線も意識しながら、できる限りブラインドやカーテン、障子を閉めずに、寝る直前まで開放的に暮らせるようなところに窓を配置する。どうしても視線が気になる場合には、植栽を施したり、すだれを掛けたりと、工夫を凝らして外とのつながりを確保しています。

—— どのような観点から、窓を選ばれているのでしょうか？

伊礼 窓は設計で最も重要な部分である一方、性能面では弱点になりやすいため、できるだけ性能の高い窓を選ぶことが大切。私自身は、断熱性能と意匠性のバランスが取れており、さらに水密性や耐風圧性、日射に対する耐候性といった点でも信頼できることから、総合的に判断して、基本的にTWを採用しています。シャープなデザインと質感も魅力で、特にスレンダーな印象が際立ちます。窓は外の風景を切り取る大切な存在です。だからこそ、視線のジャマにならないよう、できるだけノイズの少ない窓を選びたいと考えています。

意匠性と機能性の両立が できている窓、「TW」。

—— そうした基準の中で、TWを採用された理由を教えてください。

伊礼 そうですね。TWが発売されてからは、私が設計する住宅にはTWを採用しています。フレームが目立たず、すっきりとした意匠でありながら、断熱性能にも非常に優れている。意匠性と機能性の両立ができている点に、とても魅力を感じました。アルミ樹脂サッシならではの強度的な安心感もありますし、ガラス面積が大きくなることで、日射をしっかりと採り込めるので、冬場の室内も心地よく感じられるんです。

—— 最後にこれから家を建てる方に、アドバイスをお願いいたします。

伊礼 窓を選ぶうえで大切なのは、「どこに」「何のために」設けるかということです。外の景色を眺めたり、光や風を採り入れたり、窓には暮らしの質を整える大きな役割があります。だからこそ、単に性能だけで選ぶのではなく、窓の“外”と“内”の関係にしっかりと意識を向けることが大切です。そこに気を配ることで、とても気持ちのいい家ができると思います。窓から家を考えてみるのが、暮らしの心地よさにつながるきっかけになるかもしれません。

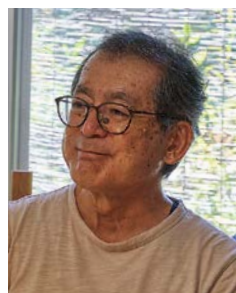


1



2





SATOSHI IREI

伊礼智氏が設計した 「TWのある住まい」

建築家・伊礼智氏の設計思想を反映した、軽井沢の〈i-works project〉の一棟。「景色を採り入れること」を第一に考え、住まいのさまざまな窓にTWが採用されています。

※ i-works project: 建築家・伊礼智が手がけてきた注文住宅の知見をもとに、暮らしの心地よさを“標準化”することで、多くの人に質の高い住宅を届けることを目指した住宅プロジェクトです。



1 2 1階のメインの窓には、外の景色をダイナミックに切り取る大きな開口を採用。

3 自然と向き合うように設けられた大きな浴室の窓。TWの断熱性能が、冬でもこの開放感を支えている。

4 遠くの緑をゆったりと切り取る、2階和室の窓。景色と向き合う時間が、暮らしに深みをもたらす。

5 階段の途中、小さな窓からふと目に入る外の景色。何気ない日常に、静かな余白が生まれる。

性能が高く、自然との
つながりも作れる。総合的に見て、
TWを選んでいきます。

建築家

大橋利紀

TOSHIKI OHASHI

2018年注文住宅ブランド『Livearth
(リヴァース)』を立ち上げ、翌2019
年設計事務所『大橋利紀建築設計
室』を創業し、代表取締役社長兼マ
スターアーキテクトに就任。「地域の風
土を生かした普遍的デザインと、「心
地よさ」を見える化する高性能を兼
ね備えた家づくり」を理念とし、ウッド
デザイン賞や日本エコハウス大賞な
どの数々の賞を受賞。



住まいの設計は、窓からはじまる。

—— 住宅を設計される際に、特に重視されていることは何ですか？

大橋 家を建てるときは、そこに生涯住むことを想定される方がほとんど。だからこそ、愛着を持って暮らしていただけることを大切にしています。そうした住まいを実現するために、私が大切にしているのが「窓」「壁」「空間」「素材」の4つの要素。なかでも最初に考えるのは「どこに窓を設けるか」。それが、住まい全体の設計の出発点になると考えています。

—— 外の景色や自然とのつながりが大切ということですね？

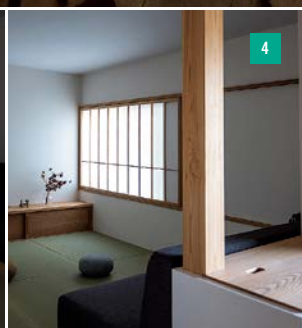
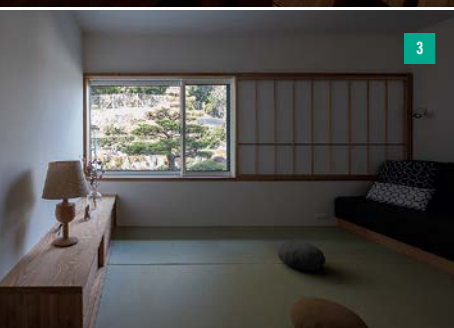
大橋 自然の美しさは、人工的なデザインよりも、はるかに深みがあると感じています。外の風景が落ち着きや開放感を与えてくれたり、外から差し込む光が空間に陰影を生み出したり。そうした、性能などの数値に表れにくい情緒的な価値こそが、豊かな暮らしをつくるうえで欠かせないものではないでしょうか。その感覚があるからこそ、外の自然と住まいをどうつなげるかを大切にしています。



TOSHIKI OHASHI

大橋利紀氏が設計した、 「TWのある住まい」

建築家・大橋利紀氏が手がけたリノベーション事例。北面の自然を暮らしの中にどう採り込むかを起点に、窓の配置を計画。光の質や視線の抜けにも配慮しながら、TWが随所に採用されています。



1 やわらかな自然光がたっぷり入るため、昼間は照明をつけずに過ごせるほど明るく。夏の強い日差しを避けながらも、冬はTWの高い断熱性能によって冷気の侵入を抑え、一年を通して快適な室内環境が保たれている。

2 開口面積を大きく確保したTWの窓は、椅子に座ったときにちょうど庭先が見えるような高さに設けられている。

3 4 TWの装飾引違い窓HKを、床に座ったときに視線が自然に外へ向くような高さに配置。

情緒と機能の両立をかなえる、TWという選択肢。

—— 情緒的な価値とともに、性能についてはどのように捉えていますか？

大橋 もちろん、家としての性能が高いことは、心地よく暮らすための前提。自然とのつながりを大切にしながら、「断熱性能」などの基本的な性能は欠かせません。とくに、冬場の「日射熱の取得」や夏場の「日射遮蔽」といった要素は、敷地や暮らし方に応じて、バランスよく設計していくことが大切です。私たちが設計する住宅では、高い断熱性能（断熱等級6相当）を基本としています。

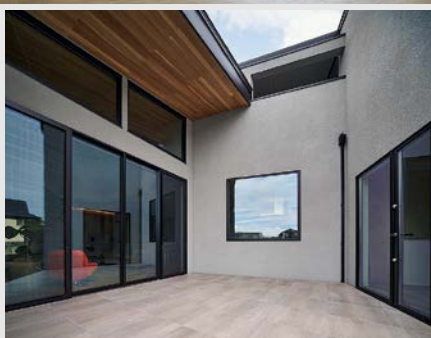
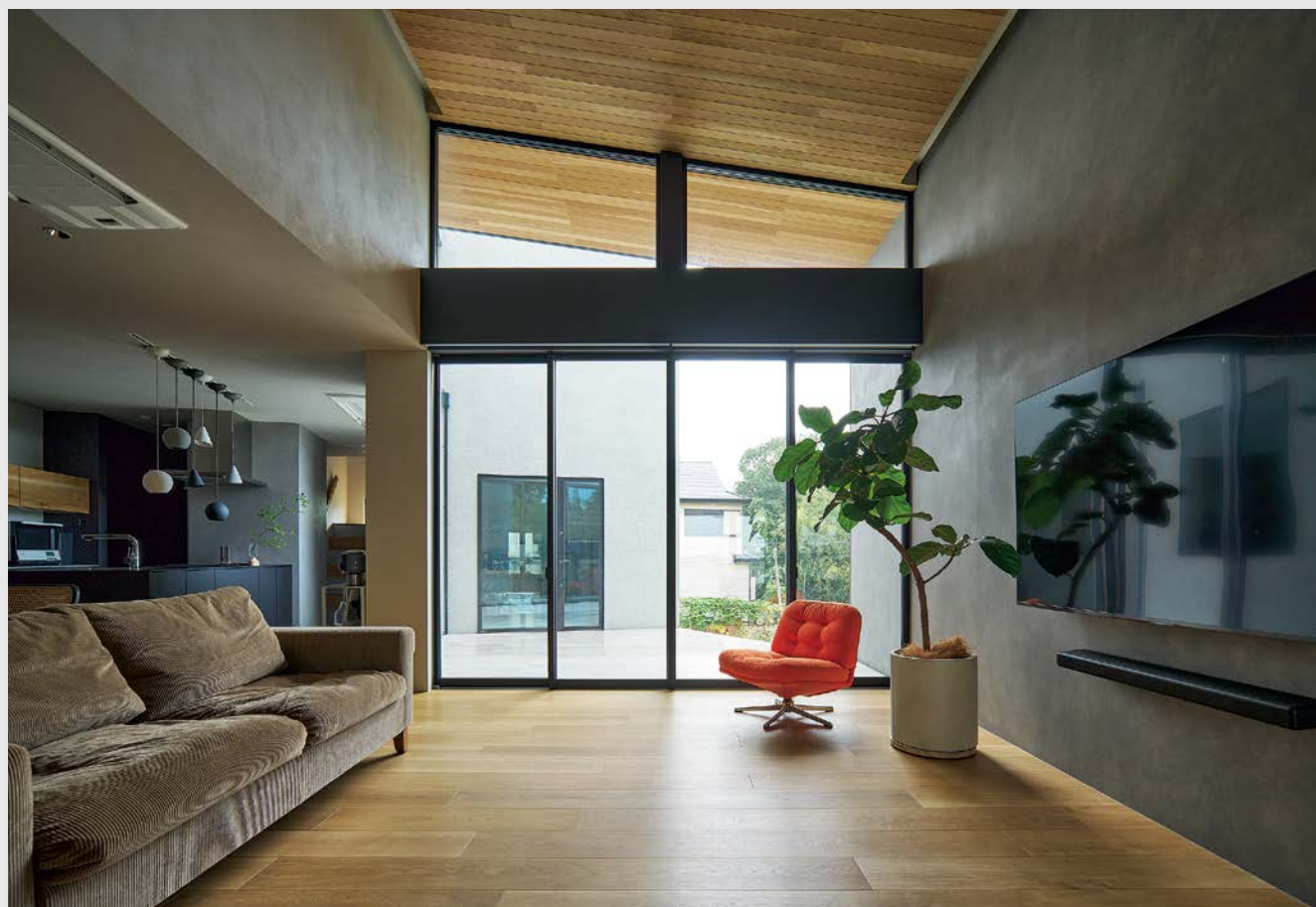
—— そのような考え方のもとで、窓にはTWを選ばれているんですね？

大橋 はい。私たちが設計する住宅では、窓はTW・トリプルガラスを標準仕様としています。以前からLIXILのアルミ樹脂複合の窓を使っていましたが、TWが発売されてからは、アルミ樹脂複合窓の課題面が抑えられ、長所がより活かされるようになったと感じています。具体的には、まず断熱性能が一段と向上したこと。性能面での安心感が増して、さらに総合力の高い窓になったと思います。



4枚建の窓が、景色を美しく切り取る。 明るく開放的なリビングのある暮らし。

奥様とお子様と3人で住まわれているN様。
「一番景色のいい場所に思い切って大きな窓を。
開放感いっぱいの空間で気持ちよく、
快適に過ごしています」と、開放的なリビングがある
暮らしを堪能しているとのこと。





寒暖差の大きい地域だからこそ、性能を実感。 大きな窓から季節を眺める家。

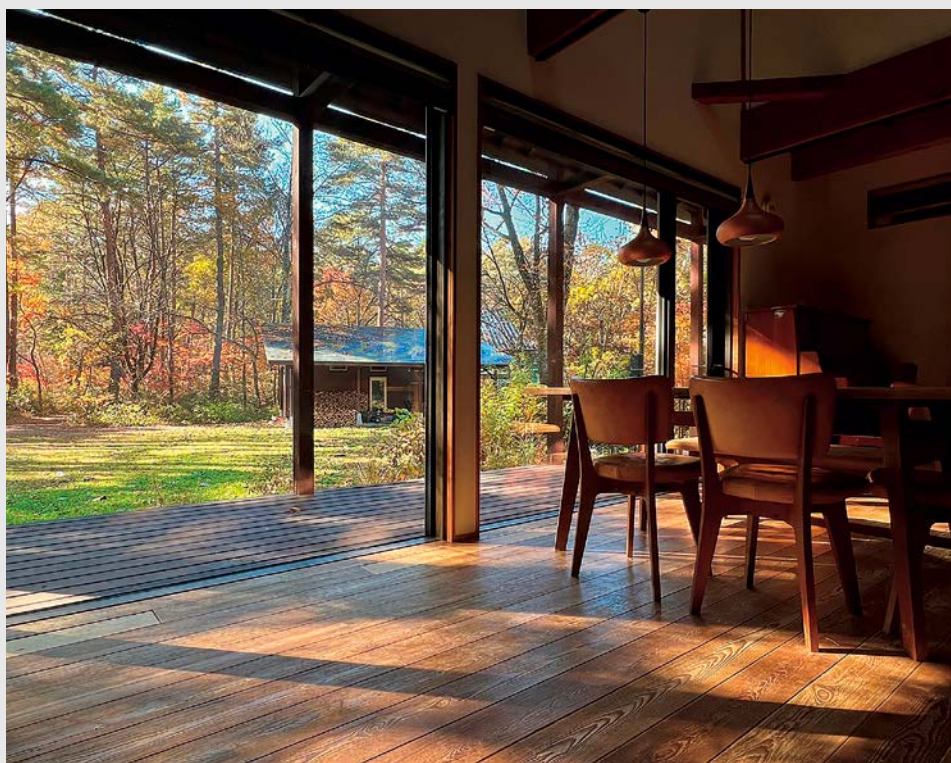
窓リフォームについて、大満足の結果になったというM様。

「家の中の暑さ寒さは、生活に支障をきたすことも。

暮らしの質に関わる部分なので、

先進的窓リノベ事業の対象になる人は

ぜひ制度を活用してほしいです」とのこと。



雄大な自然を身近に感じさせる、眺望性豊かな邸宅。

南面に開口部を集中させ、全窓にTWを採用。断熱性能、日射熱遮蔽はもちろんのこと、樹木や山など外に広がる自然を存分に楽しめるように、眺望性にも配慮しています。





空間とフレームの美しい調和が、高級感あふれる住まいを演出。

住まい全体のデザイン性を重視して、スリムなフレームのTWを採用。

インテリアにも外観にも美しく調和し、ハイクレードな居住空間を実現しています。



TWで実現する豊かな暮らし

木のぬくもりに溶け込み、暖かく、心地よい空間を創出。

省エネ性能の高い住まいを目指し、南面の窓に断熱性と日射熱取得に優れたTWを採用。
スリムなデザインが木調のインテリアにもなじみ、ぬくもりのある空間を演出しています。





開放感あふれる窓が、暖かな自然の光を空間に。

南面に大開口の窓を設けることで、日差しをたっぷりと採り入れることができ、快適な空間を実現。スリムなフレームにより、視界がすっきり広がり、外の景色を楽しむひとときも創出します。



高い断熱性が実現する、快適で、省エネな住まい。

一年中快適な住まいを実現するため、住まい全体にさまざまな工夫を施し、窓にはTWを採用。暖冷房を効率よく使うことができ、省エネ性能の高い住まいを実現しています。



開放感あふれる窓辺が生み出す、豊かな自然に囲まれた暮らし。

リビングダイニングの大開口のTWが、自然を身近に感じる空間を実現。

スリムなフレームでガラス面積を大きく確保し、内と外とがつながる心地よさを演出しています。





性能とデザインを両立し、快適な住まいを実現。

樹木が印象的な中庭を望む空間に、開放感あふれるTWを採用。

高い断熱性能とスタイリッシュなデザインを両立し、快適でリラックスできる空間を創出しています。



品種ラインアップ

引違い窓



単体引違い窓
(フラットタイプ)

16520 [16220]

TW



シャッター付引違い窓
(フラットタイプ)

16520 [16220]

TW



単体引違い窓

16520 [16220]

TW TW 防火戸
[TG/PG]



シャッター付引違い窓

16520 [16220]

TW TW 防火戸
[TG/PG]



面格子付引違い窓

11909 [11609]

TW TW 防火戸
[PG]



テラスドア

07420 [07120]

TW



採風勝手口ドア FS

07420 [07120]

TW TW 防火戸
[PG]



勝手口ドア

07420 [07120]

TW

装飾窓



縦すべり出し窓 T
(グレモン)

06011 [05711]

TW TW 防火戸
[TG/PG]



縦すべり出し窓 TF
(グレモン)

16511 [16211]

TW TW 防火戸
[TG/PG]



縦すべり出し窓 TFT
(グレモン)

16511 [16211]

TW



縦すべり出し窓 T
(オペレーター)

06011 [05711]

TW TW 防火戸
[PG]



横すべり出し窓
(グレモン)

06005 [05705]

TW TW 防火戸
[TG/PG]



横すべり出し窓
(オペレーター)

06005 [05705]

TW TW 防火戸
[PG]



高所用横すべり出し窓

16503 [16203]

TW TW 防火戸
[PG]



上げ下げ窓

06011 [05711]

TW TW 防火戸
[PG]



面格子付上げ下げ窓

06011 [05711]

TW TW 防火戸
[PG]



FIX 窓
(内押縁タイプ)

06011 [05711]

TW TW 防火戸
[TG/PG]



開き窓テラス
(フリクションアームタイプ)

07420 [07120]

TW 防火戸
[PG]



開き窓テラス
(ドアクローザータイプ)

07420 [07120]

TW 防火戸
[PG]



装飾引違い窓 HK

16511 [16211]

TW



装飾引違い窓 HKK

25611 [25311]

TW

※シャッター付引違い窓は、シャッター部で国土交通大臣認定防火設備認定を取得しているため、障子は、TWの障子を使用します。

カラーラインアップ

	ダスクグレー (H)	ブラック (T)	オータムブラウン (G)	シャイングレー (K)	ナチュラルシルバー (D)	ホワイト (W)
外観 (アルミ色)						
内観 (樹脂色)						
	ブラック (M)	クリエモカP (C)	クリエラスクP (B)	クリエパールP (P)	プレシャスホワイトP (F)	



暮らしになじみ、引き立てる「ダスクグレー」

“DUSK”という、薄暮の時間帯をコンセプトとした「ダスクグレー」は、明るさを抑えた、深みのある落ち着いたトーン。グレイッシュな外壁との相性を考えた、今までにない色によって、暮らしにまたひとつ、嬉しい選択肢ができました。

シリーズラインアップ



GOOD DESIGN

TW WOOD

窓辺から、心にふれる美しさ

目を向けるたびに、ほっとする。手でふれるたびに、心地いい。天然木のぬくもりある表情が、日々の暮らしをより豊かにする。端正な佇まいが、インテリアにさりげなく調和します。



天然木ならではの 趣深い美しさ

表情、手触り、香りなど天然木でしか味わえない美しさが、ぬくもりあふれる空間を演出します。

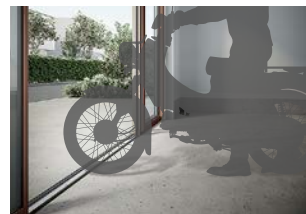


GOOD DESIGN

TW コンセプト 土間スライディング

土間空間を、快適に、楽しみつくす

わが家に土間空間を設けて、豊かな暮らしを送りたい。そんなこだわりをかなえる「土間スライディング」。外と心地よくつながり、開放感あふれる空間を創出します。



出入りにも安心の 強度を確保

下枠部には耐久性の高いステンレスレールを採用。バイクを押して出入りする時などにも安心です。



TW コンセプト パノラマドア

外に広がる景色を、快適に、存分に味わう

快適な室内にいながら、開口部いっぱい広がる景色を楽しむ。そんなひとときを堪能できる「パノラマドア」。大きなガラスから望む美しい眺めで、心満たされる空間を実現。



フレームレスなFIX部

FIX部には外押縁構造を採用し、室内からはフレームがほとんど見えません。

高性能窓 TW



<https://www.lixil.co.jp/lineup/window/s/tw/>

